

予算審査特別委員会産業建設分科会

- 1 開会日時 令和2年9月15日（火）午前11時15分
- 2 閉会日時 令和2年9月15日（火）午前11時36分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 佐々木雄司君 6番 保田 守君 8番 治徳 義明君
10番 行本 恭庸君 14番 佐藤 武文君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 副市長 前田 正之君
副市長 川島 明昌君 産業振興部長 是松 誠君
建設事業部長 杉原 洋二君 産業振興部政策監
兼建設事業部政策監 中山 教浩君
農林課長 矢部 勉君 商工観光課長 大崎 文裕君
地域整備推進室長 菊地 良典君 建設課長 福圓 章浩君
上下水道課長 塩見 真康君 赤坂支所
産業建設課長 石井 徹君
熊山支所
産業建設課長 砂子 武久君 吉井支所
産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 副参事 黒田 未来君
- 8 審査又は調査事件について
1) 議第46号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の産業建設常
任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時15分 開会

○分科会委員長（佐々木雄司君） ただいまから予算審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入りたいと思います。

当分科会の審査対象は、議第46号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）のうち、産業建設常任委員会所管部分であります。

まず、産業振興部関係の予算から審査を行います。

補足説明がありましたらお願いいたします。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いをいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、本件につきまして農林課所管部分の補足説明がございますので、農林課長より説明いたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは御説明いたします。

議第46号令和2年度一般会計補正予算（第5号）の農林課所管部分について補足説明いたします。

まず、補正予算書の20、21ページの真ん中あたりを御覧ください。それから、補正予算説明資料は14、15ページの同じく真ん中あたりになります。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費でございますが、まず日本型直接支払事業費として中山間地域直接支払交付金の補正予算を計上させていただいております。事業規模の拡大や実施地区の増加に対応するために補正を行うものでございます。

これにつきましての歳入のほうですけれども、歳入は予算書が13ページの真ん中あたり、県支出金になります。県支出金、県補助金、中山間地域等直接支払交付金でございます。予算説明資料の歳入の説明については9ページを御覧ください。9ページも真ん中あたりになると思います。

それから、同じ科目で11節需用費から19節負担金、補助及び交付金まで、農業経営生産対策事業として、がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金の関係予算を計上させていただいております。新型コロナウイルス感染拡大の防止及び感染拡大の影響等を受けた市内在住の農林業者の方に対しまして、支援金を支給させていただく予算でございますが、分科会資料がございますけれども、この1ページにおきまして制度内容を周知するために作成いたしました資料案を添付させていただいております。

これの御説明でございますけれども、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した農家に一律20万円を支給させていただく制度でございます。支給の条件としては、前年におきます総収入の半分以上農業収入が占める個人農家が対象でございます。また、今年2月から12月のうち、前年同月に比べて収入が2割以上減少した月がありますと支給の対象となります。

以上が本制度の主要部分の御説明でございます。

以上、令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）産業振興部部分の補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 説明が終わりました。

それでは、これから質疑のほうを受けたいと思います。

ただいまの説明の部分で質疑がありましたらよろしくお願ひいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金の関係について予算が計上されているんですけど、これの見通しといいますか、この対象になれるような方が赤磐市内にたくさんおられるのかどうかということを確認をさせていただきたいと思います。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐藤委員の御質問でございます。

農業者の方がどのくらいいらっしゃるかと申すけれども、この制度設計をさせていただくに当たりまして、まず今農協さんで赤磐市内の方が農協の生産部会にどのくらいの方がいらっしゃるか、それを確認いたしました。そうすると、部会は29ございますけれども、所属されてる方が828名いらっしゃいます。それと、あと系統外で出荷されてる方もいらっしゃいますから、設計としましては八百四、五十軒はおられるのではなかろうかと、対象の条件として。ただ、実際にはそれに合致する収入の半分以上を農業が占めるという方については、どの程度かなと推測しましたけれども、約半分の方ではないかと考えておりますので、0.5でこの数字になります。425掛ける20万円とすると8,500万円になると思いますので、そのような計算で予算を考えさせていただいております。

以上でございます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで産業振興部所管部分につきましては終わりたいと思います。

それでは、続きまして建設事業部関係の予算の審査を行いたいと思います。

補足説明がありましたらよろしくお願ひいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、建設課より補足説明がありますので、担当課長より説明をさせていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の補足説明をさせていただきます。

議第46号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）について建設課から補足説明をさせていただきます。

一般会計補正予算書22、23ページの中段、補正予算説明資料14、15ページの一番下の段をお願いいたします。

8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費として、避難所までの使用経路を安全に避難していただき二次災害を未然に防止するよう外側線、防護柵などの交通安全施設を整備するため、工事請負費500万円の補正を計上しております。

続きまして、予算書の同じく22、23ページ、予算説明資料16、17ページをお願いいたします。

8款土木費、2項道路橋梁費、3目道路新設改良費として、赤磐市小鎌地内の市道国広土師方線全体計画延長1,000メートル、計画幅員4.0メートルの地元調整が整った箇所について測量設計等を行うため、委託料を450万円計上しております。

続きまして、予算書同じく22、23ページ、予算説明資料16、17ページをお願いします。

8款土木費、3項河川費、1目河川総務費として、今年5月に購入した可搬式排水ポンプのホースを道路横断させた場合に道路が通行止めにならないようホースブリッジを購入するため、備品購入費を198万円計上しております。

以上で建設課の説明を終わります。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかの課はありませんか。

それでは、建設課の説明が終わりました。

今説明いただいたところで委員の皆さん方から御質疑がありましたらよろしくお願いたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 道路新設改良費の工事請負費500万円、これ避難所へということの説明があったんですけど、対象の地区の説明をもう少ししていただきたいということと、それから備品購入費の関係についても、198万円のこれも避難所関連の説明が今あったわけですけど、対象地区についてももう少し詳しく説明をいただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 安全施設整備の具体的な場所につきましてですが、山陽地域では小中学校の周辺、赤坂、熊山、吉井につきましても小中学校、公民館などの避難所周辺を想定しております。

続きまして、ホースブリッジの設置場所につきましてですが、現状で想定している場所がございます。一番の想定をしている箇所につきましては、熊山地域の千躰地区を想定しております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 大変詳しい説明をしていただいてよく分からなかったんですけど、小学校周辺地域といってもいろいろあると思うんです。その500万円の私は内訳を今お伺いしたんですけど、小学校周辺地域ですだけの説明では、その500万円の内訳が理解できないんです。

それから、備品購入費の関係については、これは熊山の千躰地区だけで、ほかは対象がないという、千躰地区だけを対象にしておるということでしょうか。再度御答弁いただきたいと思えます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓課長。

○建設課長（福圓章浩君） 具体的な場所ですが、避難所になっている学校ですので、山陽地域につきましては避難所の第2候補地が高陽中学校、高月公民館、西山公民館、山陽西小学校になっておりまして、赤坂につきましては軽部小学校、笹岡小学校、笹岡公民館、熊山につきましては、磐梨中学校、磐梨小学校、桜が丘小学校、吉井につきましては吉井中学校、城南小学校、仁美小学校、吉井B&G海洋センターになっておりますので、その周辺の交通安全の整備を行っていきたいと考えております。

続きまして、ホースブリッジですが、千躰地区だけではございません。一番想定している場所は千躰地区でございますが、可搬式ですので、必要な箇所、必要に応じて、状況に応じてそちらの場所にも運んで排水が必要であれば排水を行っていきたいと考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 委員会に説明するのに、もう少し詳しく私は説明していただきたい。500万円の内訳について説明を求めておるんですけど、そのことについてどこどこ小学校、どこどこ小学校というようなことの中で、我々その500万円の内訳の内容がよく分からないんで

す。このことについてどういうことをされるのでしょうか。例えばラインを引かれること以外に、何をされるかということについて再度お答えいただきたいということと、それから千躰地区以外にもあるんですということと198万円の内訳が、千躰地区に198万円を使われるのかなと思っておったら、ほかの地区にもあるんですというて。具体的にほんならどこどこがあって、198万円の内訳、それから500万円の内訳をお聞きしておるんで、今の説明ではそういうことについて一切我々には理解できないんです。もう少し詳しく説明をいただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 詳しい場所につきましてですが。

○委員（佐藤武文君） 場所はええから内容だけ言うてください。

○建設課長（福圓章浩君） 内容につきましては、外側線、白線について4,000メートルを考えておまして、防護柵については80メートルを想定しております。

ホースブリッジにつきましては、今現在千躰地区で1対を計上しております。1組で8本のホースが入りますので、1つの箇所であればそちらで対応できるかと考えております。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどの工事請負費の関係については、交通安全施設等々の関わりが私は多分にあると思うんですけど、交通安全施設との関わりとダブらないような関係でそういうような予算を計上しとられるのか、そのことについて再度確認をさせていただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁お願いします。

○建設課長（福圓章浩君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 当初でも交通安全施設の予算を計上させていただいております。その予算と一連的に場所を選定して実施していきたいと考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、だんだん分からなくなった。本来なら交通安全施設でやらなければならないような内容を、避難場所に関わりをつけてここへ維持補修工事費500万円を計上しておられるんですけど、内容的には安全施設の関わりが全てじゃないんですか。だったら、その今言う安全施設でやられりゃよろしいんじゃないんですか。そのことについてもう一度答弁願います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 交通安全施設の整備を行っていききたいと……。

○市長（友實武則君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） すみません、暫時休憩をお願いします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） では暫時休憩といたします。

午前11時33分 休憩

午前11時34分 再開

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、再開いたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 先ほどの件につきましては、通常の交通安全対策のほうで実施しておる事業の枠外で今回のコロナ対策として避難所への整備をすることによって、より一層安全施設を一連的に整備していくという趣旨のものでございます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで質疑を終わりたいと思います。

以上で当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては、委員長に一任していただきたいと思いますが、それよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでございました。

これで予算審査特別委員会産業建設分科会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前11時36分 閉会